

熱交換器の特徴

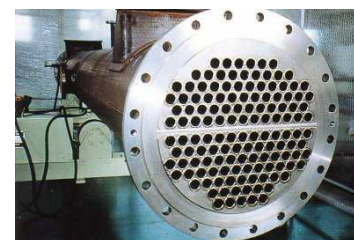
1. 設計(伝熱計算・詳細設計)～製作まで一貫体制. 伝熱計算はHTRIを使用。

2. 特殊材(※1)の実績が豊富で、多種多様な材質の機器が製作可能

※1ハステロイ, インコロイ, チタン合金, 銅合金, 低合金鋼, 2相系ステンレス鋼, フェライト系ステンレス鋼
マルテンサイト系ステンレス鋼

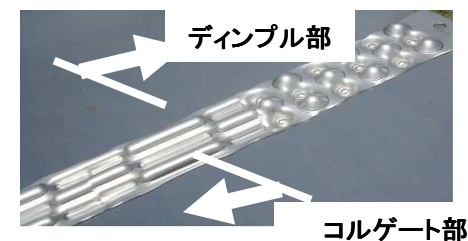
3. リチュービング(チューブ交換)も得意

- (1) 2相系ステンレス鋼のような抜管しにくい材質でも対応可能
- (2) 小口径から大口径まで対応可能
- (3) 管板とチャンネル一体型にも対応可能



4. 熱交換器に発生する振動を解析し、その振動を防止するDTS(※2)を製作できる日本でただ1社の企業

※2 DTS: Dimpled Tube Support



5. ASME規格【アメリカ機械学会の規格】(2010年度取得)

6. GB規格【中国国家標準】(2011年度取得)

熱交換器製作事例

遊動型熱交換器



ケトル型熱交換器



3段スタッキング熱交換器



低合金鋼製熱交換器



リチュービング作業



最大製作能力

重量: 60 Ton

内径: 5.5 m

長さ: 25 m

板厚: 32 mm